

# 公益社団法人 日本天文学会 代議員総会議事録

日時： 2023年1月9日(月) 13時00分～17時40分

場所： 日本天文学会事務所(オンライン開催)

出席代議員：須藤、相川、奥村、大須賀、太田、浅井、大向、秋山、大朝、吉田、米徳、藤沢、江草、生田、福江、赤堀、柏川、細川、今井、山崎(了)、田中、犬塚、野村、山崎(典子)、谷口、河野、土居、小林、井岡、林、石川、百瀬、高橋、井上、富田、富永、長尾、當真、横山、川端、稲見(以上41名、委任状2名)

欠席代議員：津村、藤井、本間

梅村林忠四郎賞・欧文報告賞選考委員長、松村日本天文遺産選考委員長、花岡監事、山本会長、久保田副会長、町田庶務理事、鈴木庶務理事、酒向会計理事、鹿野会計理事、佐藤事務長、黒岩・田口谷事務長補佐が出席した。太田副会長、奥村監事は代議員を兼任している。

## I. 確認事項など

議事に先立ち、出席代議員が41名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議長：山本 智

署名人：山本 智

## II. 議題

### II-1. 公益社団法人日本天文学会 2023年度事業計画の承認(町田、資料3)

2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)事業計画書が提示された。2022年12月理事会で、一部内規が改正された(報告事項の「理事会報告」参照)ことを踏まえた文言修正済みであることが説明された。書籍の刊行に関する文言の修正を行うことを前提として、賛成多数で承認された。

### II-2. 公益社団法人日本天文学会 2023年度予算の承認(酒向、資料4)

2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)予算案が提示された。担当の公認会計士にも確認頂いた上で、公益社団法人として守るべきルールである赤字予算を組んでいることが説明された。また事務所職員が1名増員され予算案にも計上されている。予算案は賛成多数で承認された。

### II-3. インボイス制度への対応について(酒向、資料5)

2023年10月1日より開始される消費税インボイス制度に参加するメリットとデメリットが説明され、日本天文学会が消費税の納税免税事業者から納税事業者に移行し、消費税インボイス制度に加入することが提案された。なお、PASJがOUPでの発行となる以前の日本天文学会は納税事業者であり、従来の体制に戻るということになる。代議員より、現在の状況を確認するための質問が出された後、提案は賛成多数で承認された。

### II-4. 2023年度各賞受賞者の決定

林忠四郎賞・欧文研究報告論文賞(梅村、資料6)

受賞候補者として大須賀健氏が推薦され、同氏の業績について説明がされた。賛成多数で承認された。なお、候補者は代議員でもあるため、本審議のみ退席した。

#### 欧文研究報告論文賞(梅村、資料6)

Harikane et al. (2018)、および、Matsuoka et al. (2018)の2編が推薦され、論文内容についての説明がされた。被引用度に関する記述が、各々の論文の授賞理由説明文中で統一されていないことが指摘された。該当個所に修正を加えることとし、いずれの2編も賛成多数で承認された。なお、論文の共著者となっている代議員は、本審議のみ退席した。

#### 研究奨励賞(細川、資料7)

木村成生氏、野田博文氏、藤本征史氏の三名が研究奨励賞の候補に推薦され、推薦理由について説明された。授賞理由書の文言に微修正を加えることとし、賛成多数で承認された。近年女性候補者の推薦ならびに受賞が少ない傾向であるため、来年度以降女性候補者を積極的に推薦して頂きたいとの要望が出された。これに対して代議員より、他の賞についても同じく女性候補者の積極的な推薦を促すべきだという意見が出された。

#### 天体発見賞/天体発見功労賞、天文功労賞(川端、資料8)

天体発見賞候補の推薦理由が説明され、賛成多数で承認された。なお、天文発見功労賞は該当者なしである。また、天文功労賞(長期・短期)候補について推薦理由が説明され、賛成多数で承認された。

#### 日本天文遺産(松村、資料9)

日本天文遺産として3件が推薦され、推薦理由について説明された。本代議員総会での議論の上、所有者が明確でない1件は本年度での審議は行わないこととなった。残り2件は、推薦理由書の修正を委員会でも再検討の上、代議員間で回覧することを前提として、賛成多数で承認された。

#### 天文教育普及賞(土居、資料10)

候補者4件(個人4、うちメディア2)が推薦され、推薦理由が説明された。本代議員総会での意見を受けて、うち3件については委員会に持ち帰ることとした。残り1件については、賛成多数で承認された。

### III. 報告

#### III-1. 理事会(2022年12月24日)の報告(町田、資料11)

2022年12月24日に開催された理事会の報告がされた。以下の報告事項に含まれていないものとして、年会実行委員会と開催地理事、天文月報編集委員会、天文教員委員会からの報告内容が紹介された。詳細は理事会議事録を参照のこと。

#### III-2. 今後の年会開催地について(町田、資料11 および 吉田、画面共有資料のみ)

2024年3月の年会開催地を東京大学、2024年9月の年会開催地を関西学院大学(三田キャンパス)と理事会で決定されたことが、報告された。なお2024年3月年会は、通常セッションを完全オンライン形式で期間前半に行い、企画セッションや公開講演会、ジュニアセッションを期間後半にハイブリッド形式で開催する方式を構想していることが紹介された。これに対して代議員より、以下の意見や質問が出された。(i)託児施設は一般的に平日の方が多く稼動し

ているので、スケジュール作成の際に考慮をお願いしたい。(ii)日本天文学会全体の方針についての質問が出され、タスクフォースで検討が継続中であることが会長から回答された。(iii)若手会員にとっては対面発表の機会を確保することが重要である。(iv)対面とオンライン発表両方の効用の最大化をする検討をお願いしたい。(v)通常セッションをハイブリッド、企画セッション等を完全オンラインという方式もあり得ると考えられる。

III-3. 各委員会の新委員リストについて(町田、資料12)

2022年12月の理事会において、次回(2023年3月)理事会で承認予定のPASJ編集委員会と顧問を除く次期(2023-2024年度)の委員と委員長が決定されたことが、報告された。代議員より、インターネット天文学辞典編集委員の人員数が多過ぎるのではないかとの意見が出された。

III-4. 内規の改訂について(山本、資料13)

2022年12月の理事会において、日本天文学会研究奨励賞、同林忠四郎賞、同早川幸男基金内規の改正されたことが報告された(具体的な内容は、理事会の議事録を参照のこと)。早川幸男基金の受賞資格の文言について意見が出され、さらなる検討を行うと会長から回答された。

III-5. Tennet に関して(生田、資料14)

今後運用の変更を計画しているTennetに関して、現在の検討状況が報告された。配信に関しては、Google Workspace を利用したメーリングリストを運用する方針を大枠とし、より詳細を検討している状況である。アーカイブの公開部分はクラウドサービスを利用予定である。

III-6. 学術会議・IAU 分科会報告(山崎(典)、資料15)

日本学術会議 天文学・宇宙物理学分科会において、「長期計画-2030-2040年代のビジョン」を執筆中であることが報告された。学術会議全体の動きとして、「未来の学術振興構想」に194件の応募があり審査が始められたこと、および、次期会員・連携会員の選考について説明された。また、学術会議法の改正についても議論が継続していることが報告された。加えて、学術会議の諸問題については、源泉資料に基づいて議論・判断を希望する旨が述べられた。これに対し、代議員からは、様々な立場に立った意見があげられた。

III-7. 学術会議について(山本)

学術会議の会員・連携会員の選考の際には、学術会議の独立性を担保することが重要であること、そのために日本天文学会からの働きかけを行う必要があると考えており、物理学会と地球惑星科学連合などと共同声明の発出を検討していることが報告された。これに対し、複数の代議員から肯定的な意見があった。

今後の声明対応については会長に一任することが確認された。

[資料リスト]

資料1 代議員総会出欠席表

資料2 公益社団法人日本天文学会代議員総会議事録案

資料3 公益社団法人日本天文学会2023年度事業計画書

資料4-1 から13 公益社団法人日本天文学会2023年度予算案

資料5 日本天文学会の消費税インボイス制度への対応について

資料6 2022年度林忠四郎賞および欧文研究報告論文賞選考経過報告

資料 7 2022 年度(第 34 回)日本天文学会研究奨励賞選考過程報告

資料 8 2022 年度日本天文学会天体発見賞・天体発見功労賞・天文功労賞候補者推薦書

資料 9 2022 年度(第 5 回)日本天文遺産選考経過報告書

資料 10 2022 年度(第 5 回)日本天文学会天文教育普及賞の選考経過報告書

資料 11 2022 年 12 月 24 日開催の理事会報告

資料 12 2023-2024 年度委員候補者リスト

資料 13 日本天文学会研究奨励賞内規、日本天文学会林忠四郎賞内規、日本天文学会早川幸男基金内規

資料 14 TENNET 検討状況報告

資料 15 日本学術会議物理学委員会 天文学・宇宙物理学分科会/IAU 分科会 報告

2023 年 1 月 9 日

議長・署名人： 山 本 智 印